2026 年 五城目町町民まちづくりアンケート調査 集計結果報告書

実施: 秋田県五城目町 まちづくり課
調査時期: 令和 8 年（2026 年）8～9 月実施
対象データ: 2026 年実施 町民まちづくりアンケート調査（有効回収数 657）

第 1 章 調査概要

本報告書は、五城目町が令和 8 年 8～9 月に実施した「町民まちづくりアンケート調査」の集計結果を取りまとめたものである。前期基本計画の進捗検証および令和 9 年度～令和 13 年度を計画期間とする「総合発展計画（後期基本計画）」策定に向け、町民の生活意識、施策満足度・重要度、公共交通、移動手段、デジタル環境の利用実態を体系的に把握することを目的とする。

1.1 調査設計仕様

調査項目	調査仕様内容
調査地域	五城目町全域
調査対象	令和 8 年 8 月時点で五城目町に住民登録のある満 18 歳以上の方
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査期間	令和 8 年（2026 年）8～9 月
調査方法	郵送配布・郵送回収、および QR コード Web 回答併用
有効回収数	**657**（有効回収率 32.8%）

第 2 章 回答者の基本属性（Q1～Q4）

回答者の属性構成は以下の通りである。

2.1 年齢構成（Q1）

選択肢・区分	回答数（N）	構成比（%）
10・20 歳代	26	4.0
30 歳代	36	5.5
40 歳代	55	8.4
50 歳代	83	12.6
60 歳代	153	23.3
70 歳以上	304	46.3
合計	**657**	**100.0**

2.2 職業構成（Q2）

選択肢・区分	回答数（N）	構成比（%）
会社員	129	19.6
公務員	29	4.4
農林業	34	5.2
自営業	49	7.5
学生	4	0.6
パート・アルバイト	79	12.0
主婦（主夫）	95	14.5
無職	217	33.0
その他	21	3.2
合計	**657**	**100.0**

2.3 居住地区構成（Q3）

選択肢・区分	回答数（N）	構成比（%）
五城目地区	315	47.9
森山地区	42	6.4
馬場目地区	51	7.8
富津内地区	69	10.5
内川地区	41	6.2
大川地区	97	14.8
馬川地区	42	6.4
合計	**657**	**100.0**

2.4 町内会活動・ボランティア参加状況（Q4）

選択肢・区分	回答数（N）	構成比（%）
はい	274	41.7
いいえ	368	56.0
無回答	15	2.3
合計	**657**	**100.0**

3 章 幸福度と判断要因（Q5〜Q6）

3.1 幸福度評価（Q5：10 段階評価）

回答者全体の幸福度平均は **6.03 点 / 10.0 点**（有効回答数 648、無回答 9）である。

評価区分（10 段階）	回答数（N）	構成比（%）
0 点（とても不幸せ）	4	0.6
1 点	5	0.7
2 点	16	2.4
3 点	43	6.5
4 点	40	6.1
5 点	205	31.2
6 点	69	10.5
7 点	89	13.5
8 点	113	17.2
9 点	25	3.8
10 点（とても幸せ）	39	5.9
無回答	9	1.4
合計	**657**	**100.0%**

3.2 幸福度を判断する際に最も重視したこと（Q6）

重視項目	回答数（N）	構成比（%）
家計の状況	173	26.3
就業状況	16	2.4
余暇	32	4.9
健康状態・精神状態	240	36.5
家族関係	153	23.3
友人関係	11	1.7
地域との関係	21	3.2
無回答	11	1.7
合計	**657**	**100.0**

第 4 章 行政施策評価・分析（62 項目）

本章では、主要 5 分野（Q7～Q68）全 62 項目について、満足度平均点（5 点満点）および重要度平均点（5 点満点）を提示する。

主要 5 分野 62 項目の満足度・重要度評価一覧表

設問番号	大項目・分野	施策タイトル	満足度平均（点）	重要度平均（点）	有効回答数（N）
Q7	【1．防災・インフラ・行政基盤】	河川改修の促進や内水氾濫・水害対策	2.66	4.14	634
Q8		土砂災害を防ぐ森林整備・急傾斜地対策	2.80	3.78	639
Q9		避難所の環境整備（冷暖房・Wi-Fi 等）・防災備蓄品の充実	2.84	3.80	632
Q10		防災行政無線・SNS・LINE 等を活用した防災情報伝達	3.17	3.85	595
Q11		消防団や自主防災組織の活動支援	3.09	3.61	628
Q12		町道の適切な維持管理	2.67	3.52	645
Q13		ガードレールや歩道・街灯整備や通学路の安全対策	2.72	3.59	640
Q14		除排雪体制の充実	2.77	3.84	622
Q15		クマなど有害鳥獣の対策強化	2.81	3.87	641
Q16		オンライン化・デジタル技術による窓口サービスの利便性向上	2.87	3.35	647
Q17		わかりやすい行政情報の発信	2.85	3.43	641
Q18		健全で透明性の高い財政運営と適切な予算執行	2.88	3.51	647
Q19		公共施設の維持管理・使用料の適正化	2.89	3.33	645
Q20		浄水場の整備	3.02	3.86	627
Q21		空き店舗・空き家の利活用	2.44	3.35	644
Q22		脱炭素および再生可能エネルギー施策の推進	2.65	3.19	651
Q23	【2．福祉・医療・コミュニティ】	町内会やコミュニティ活動への支援	2.95	3.28	640
Q24		地区別座談会などによる対話の充実	2.81	3.16	646
Q25		高齢者の知識・経験を活かせる居場所づくりなどへの支援	2.73	3.24	648
Q26		救急医療体制の確保や広域的な医療連携	2.85	3.86	637
Q27		健康診断・がん検診などの予防医療推進	3.26	3.69	646
Q28		介護保険サービスの充実や在宅介護支援	3.05	3.67	627
Q29		障がい者の自立を支える福祉環境の向上	2.90	3.48	643
Q30		孤立・生活困窮・子育てなどに一体的に対応する重層的な支援	2.86	3.60	645
Q31		乗り合いタクシーやマイタウンバスの利便性向上	2.78	3.58	638

Q32	【2. 福祉・医療・コミュニティ】	高齢者等支援（買い物・通院の移動支援や冬季の雪下ろし）	2.71	3.69	641
Q33		地域の見守り・防犯巡回など、近隣同士の助け合い	2.82	3.48	640
Q34		地域課題の掘り起こしと困りごと相談・解決支援	2.73	3.34	651
Q35		集落機能の維持（集落支援員の設置など）	2.74	3.26	649
Q36		人権、多様性を尊重するまちづくり	2.84	3.28	646
Q37	【3. 子育て・教育・若者支援】	子育て総合支援施設の設置	2.85	3.51	642
Q38		妊娠期から育児期まで一貫した伴走型相談支援の充実	2.90	3.56	646
Q39		待機児童ゼロ維持	3.21	3.56	645
Q40		身近な遊び場の安全管理	2.71	3.52	647
Q41		子育て世帯に対する経済的支援の充実	2.97	3.57	642
Q42		快適な学習環境の整備	3.11	3.54	624
Q43		タブレット端末等を活用した ICT・デジタル教育の充実	3.10	3.40	632
Q44		学童保育の充実	3.09	3.59	634
Q45		スポーツ少年団や部活動への支援、体育施設等使用料の無償化	2.97	3.50	638
Q46		五城目高校の魅力向上	2.60	3.49	646
Q47		教育留学制度による生徒の受け入れと地域交流	2.96	3.26	635
Q48		就労支援やキャリア教育の促進	2.81	3.41	648
Q49	【4. 産業・仕事・観光】	農林業の新規就農者への支援	2.71	3.58	650
Q50		地域計画に基づく農地の集約化や高収益作物導入支援	2.70	3.55	650
Q51		耕作放棄地の発生防止・有効活用	2.48	3.62	650
Q52		農産物の活用を通じた地産地消の促進	2.76	3.55	649
Q53		林業の活性化と森林資源の利用	2.71	3.42	647
Q54		木材生産の推進	2.69	3.39	650
Q55		ICT やデジタル技術を活用した農林業のスマート化	2.69	3.39	648
Q56		朝市の出店支援・イベント開催と次世代への継承	2.82	3.58	638
Q57		創業・起業支援と新ビジネス創出	2.84	3.53	645
Q58		企業誘致の推進と雇用促進	2.41	3.76	647
Q59		ふるさと納税の返礼品開発・ブラッシュアップを通じた魅力発信	2.56	3.43	647
Q60		関係人口の創出	2.56	3.53	641
Q61		観光資源の磨き上げ（森山など）や商店街の景観整備	2.39	3.55	645
Q62	【5. 文化・歴史】	伝統芸能、祭り、郷土文化の保存と次世代への伝承活動支援	2.74	3.48	645
Q63		文学的価値（矢田津世子）の再評価	2.80	3.06	645
Q64		地域学習の充実および多世代の学び	2.90	3.28	641

Q65	【5. 文化・歴史】	地域図書室（わーくる）の充実	2.90	3.39	636
Q66		芸術・文化団体への支援	2.84	3.18	648
Q67		e スポーツ等を通じた若者や町外住民との交流	2.73	3.10	647
Q68		自然・町並みの維持や、住民参加型美化活動への支援	2.74	3.38	648

第 5 章 公共交通・移動手段に関する意識（Q69～Q77）

5.1 最近 30 日以内の公共交通利用状況（Q69）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
利用した	44	6.7
利用していない	604	91.9
無回答	9	1.4
合計	**657**	**100.0**

5.2 公共交通を利用しない理由（Q70）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
自家用車等の移動手段がある	579	88.1
身体的な理由で福祉サポートを受けている	5	0.8
理由があって利用できない	22	3.3
無回答	51	7.8
合計	**657**	**100.0**

5.3 運行面での不利用理由（Q71）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
停留所が遠い	16	2.4
時間が合わない	36	5.5
目的地に行かない	15	2.3
乗換が不便	15	2.3
一度で用特が済まない	18	2.7
無回答	600	91.3
合計	**657**	**100.0**

5.4 サービス面での不利用理由（Q72）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
運賃が高い	4	0.6
利用方法がわからない	20	3.0
電話予約が面倒	20	3.0

支払いが面倒	4	0.6
無回答	618	94.1
合計	**657**	**100.0**

5.5 Q72 に関するその他の回答（Q73）

回答	回答数（N）
11 月頃から冬の間、雪が消えるまで利用しています。	1
利用する時間が合わない	1
自家用車があるから	2
利用する幼児がない	1
利用する理由がない	2
合計	7

5.6 公共交通の利用目的（Q74）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
買物	63	9.6
通院	56	8.5
通勤・通学	17	2.6
金融機関	14	2.1
娯楽・趣味	20	3.0
家族や友人の訪問	6	0.9
その他	4	0.6
無回答	558	84.9
合計	**657**	**100.0**

5.7 （行き）何時何分に出発したいか（Q75）

時間（行き）	回答数（N）	構成比（%）
4：30	1	0.1
6：00	2	0.3
6：20	1	0.1
7：00	3	0.4
7：30	1	0.1
8：00	11	1.6
8：15	1	0.1
8：30	10	1.5
9：00	18	2.7
9：30	2	0.3

10：00	13	2.0
10：30	1	0.1
11：30	1	0.1
13：30	2	0.3
14：00	2	0.3
17：00	1	0.1
17：30	2	0.3
18：00	1	0.1

・今まで通り
・小学校登校に間に合えば何時でも
・七時ころ五城目からメルシティにいき、メルシティ発のバスとの接続があれば便利

5.8 （帰り）何時何分に出発したいか（Q76）

時間（帰り）	回答数（N）	構成比（%）
10：00	1	0.1
10：30	5	0.7
11：00	6	0.9
11：30	6	0.9
12：00	10	1.5
12：10	1	0.1
12：30	2	0.3
13：00	3	0.4
13：30	1	0.1
14：00	1	0.1
14：30	2	0.3
15：00	13	2.0
15：30	1	0.1
16：00	9	1.4
17：00	2	0.3
20：00	3	0.4
20：30	1	0.1
21：00	1	0.1
22：30	1	0.1

・今まで通り
・下校時間に合わせた時間何時でも
・六時半頃にメルシティから五城目までのバスがあればよい 中央交通のバスが廃止になったため帰宅手段がなく、引っ越しを考えている

5.9 望ましい運行形態（Q77）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
毎日決まった時間に走る乗合タクシー	145	22.1
決まった曜日のみ走る乗合タクシー	28	4.3
予約に応じて自宅まで来る乗合タクシー	208	31.7
その他	22	3.3
無回答	254	38.7
合計	**657**	**100.0**

第 6 章 地域公共交通サービス施策評価･分析（15 項目）（Q78～Q92）

本章では、地域公共交通 15 項目について、満足度平均点（5 点満点）および重要度平均点（5 点満点）を提示する。

地域公共交通 15 項目の満足度･重要度評価一覧表

設問番号	大項目･分野	施策タイトル	満足度平均（点）	重要度平均（点）	有効回答数（N）
Q78	【公共交通：路線バス】	（路線バス）運行本数や時間帯	2.27	3.56	401
Q79		（路線バス）利用時の運賃	2.94	3.35	405
Q80		（路線バス）公共交通間の乗継時間	2.56	3.44	402
Q81	【公共交通：乗合タクシー】	（乗合タクシー）運行本数や時間帯	2.52	3.46	384
Q82		（乗合タクシー）利用時の運賃	2.96	3.39	387
Q83		（乗合タクシー）公共交通間の乗継時間	2.71	3.37	378
Q84		（乗合タクシー）乗降可能な個所数や場所	2.72	3.42	384
Q85		（乗合タクシー）乗降する場所から目的地までの距離	2.87	3.35	376
Q86		（乗合タクシー）利用時の予約方法（電話）	2.86	3.31	376
Q87		（乗合タクシー）運賃の支払い方法	2.96	3.25	373
Q88		（乗合タクシー）車両の大きさや乗降のしやすさ	3.01	3.25	378
Q89	【公共交通：利用環境】	（利用環境）停留所･待合所の環境	2.72	3.27	386
Q90		（利用環境）遅延や運休などの運行情報発信	2.62	3.28	379
Q91		（利用環境）路線図･時刻表の内容	2.73	3.35	382
Q92		（利用環境）利用促進資料（時刻表･マップ等）の内容	2.73	3.32	385

第 7 章 公共交通の役割やあり方（Q93～Q95）

7.1 公共交通が果たすべき役割（Q93）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
日々の生活の足	251	38.2
免許返納後の移動	308	46.9
観光・来訪者の移動	26	4.0
まちの活性化	29	4.4
その他	2	0.3
無回答	41	6.2
合計	**657**	**100.0**

7.2 今後の町の財政負担とサービスのあり方（Q94）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
町の負担を増やしてもサービス向上	103	15.7
負担は維持し、できる範囲で提供	270	41.1
地域や企業との連携で向上を図る	150	22.8
負担を減らし、最低限の維持に留める	69	10.5
無回答	65	9.9
合計	**657**	**100.0**

7.3 地域で協力可能な活動（Q95）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
バス停の清掃・環境改善	202	30.7
利用促進イベントへの参加	87	13.2
検討会への参加	86	13.1
その他	11	1.7
ない	138	21.0
無回答	133	20.2
合計	**657**	**100.0**

第 8 章 運転免許保有と移動意識（Q96～Q97）

8.1 運転免許の所有状況および返納検討（Q96）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
所有しており返納予定なし	517	78.7
所有しているが返納検討中	48	7.3
返納したため所有していない	31	4.7
一度も所有したことがない	39	5.9
無回答	22	3.3
合計	**657**	**100.0**

8.2 免許返納予定がない理由（Q97）（複数回答）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
通勤など仕事で車が必要	311	47.3
買い物や通院などで車が必要	440	67.0
家族の送迎などで車が必要	214	32.6
運転することが趣味	53	8.1
自家用車以外の移動手段に不安	114	17.4
返納にメリットを感じない	93	14.2
とくに理由はない	25	3.8
その他	14	2.1
無回答	140	21.3

第 9 章 デジタル環境と利用決済手段（Q98～Q102）

9.1 インターネット契約状況（Q98）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
契約している	358	54.5
契約していない	234	35.6
無回答	65	9.9
合計	**657**	**100.0**

9.2 スマートフォン所有状況（Q99）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
所有している	515	78.4

所有していない	100	15.2
無回答	42	6.4
合計	**657**	**100.0**

9.3 日常の利用決済手段（Q100）（複数回答）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
現金	562	85.5
クレジットカード	291	44.3
デビットカード	15	2.3
カード型電子マネー	200	30.4
スマホ型電子マネー	67	10.2
コード読み取り型決済	130	19.8
無回答	21	3.2

9.4 公共交通での利用希望決済（Q101）（複数回答）

選択肢	回答数（N）	構成比（%）
現金以外使う予定なし	303	46.1
クレジットカード	74	11.3
デビットカード	9	1.4
カード型電子マネー	149	22.7
スマホ型電子マネー	123	18.7
コード読み取り型決済	93	14.2
現状のキャッシュレス以外予定なし	33	5.0
無回答	58	8.8

9.5 公共交通情報の入手先（Q102）（複数回答）

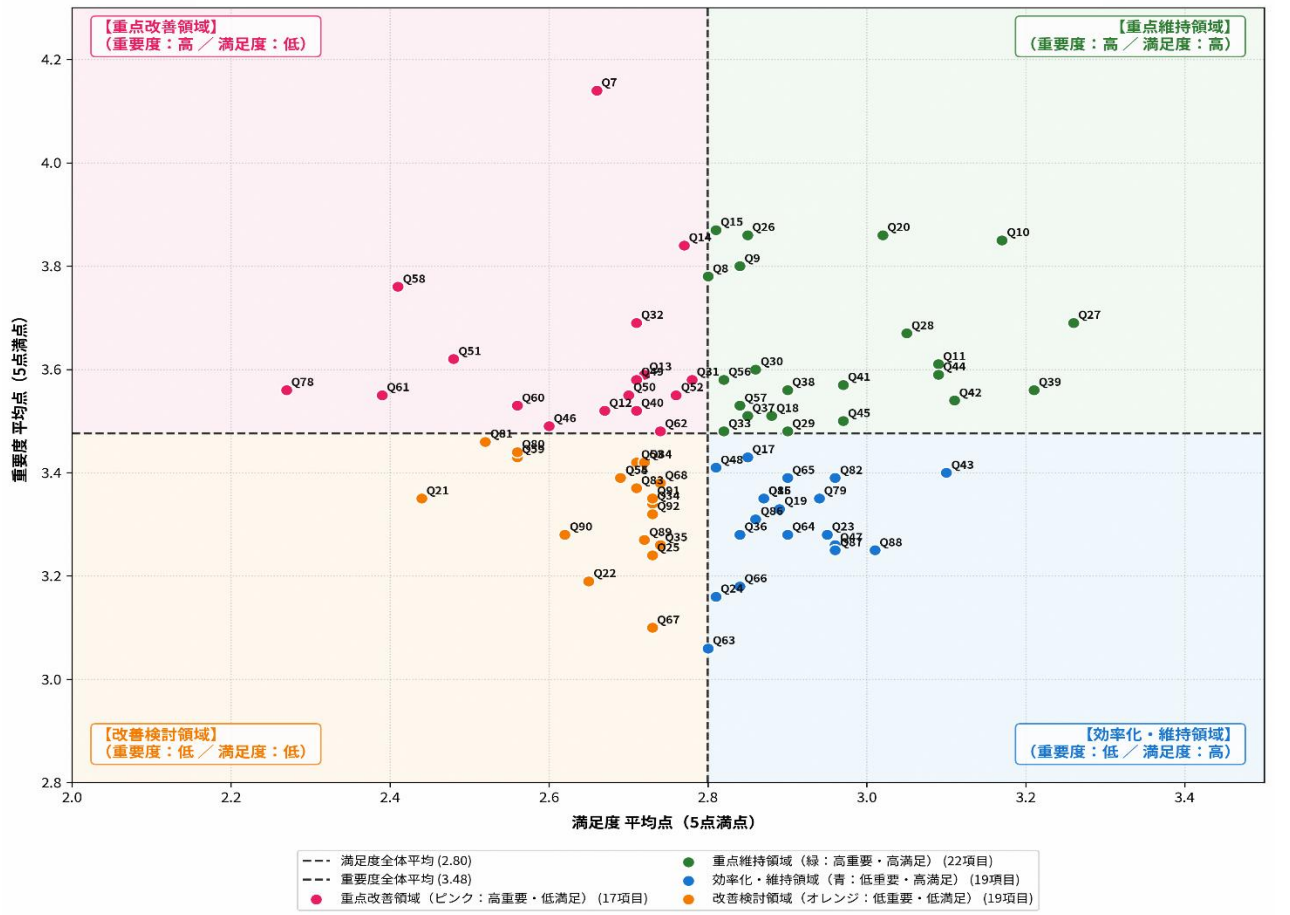
選択肢	回答数（N）	構成比（%）
町や事業者の HP	171	26.0
広報・チラシ	340	51.8
駅やバス停の掲示	112	17.0
交通系アプリ	108	16.4
運転手に尋ねる	17	2.6
家族・友人・知人	80	12.2
全く調べない	70	10.7
その他	5	0.8
無回答	59	9.0

第 10 章　マトリクスによる分類構造

本章では、主要 5 分野（Q7～Q68：62 項目）および公共交通分野（Q78～Q92：15 項目）を統合した**全 77 施策**について、満足度平均点（5 点満点）および重要度平均点（5 点満点）を提示する。全体平均は**満足度：2.80 点**、**重要度：3.48 点**である。

エリア	軸条（全体平均基準）	項目数	構成比	該当する設問番号
【重点改善領域】	重要度 ≥ 3.48 点 且つ 満足度 < 2.80 点	17 項目	22.1%	Q7, Q12, Q13, Q14, Q31, Q32, Q40, Q46, Q49, Q50, Q51, Q52, Q58, Q60, Q61, Q62, Q78
【重点維持領域】	重要度 ≥ 3.48 点 且つ 満足度 ≥ 2.80 点	22 項目	28.6%	Q8, Q9, Q10, Q11, Q15, Q18, Q20, Q26, Q27, Q28, Q29, Q30, Q33, Q37, Q38, Q39, Q41, Q42, Q44, Q45, Q56, Q57
【効率化･維持領域】	重要度 < 3.48 点 且つ 満足度 ≥ 2.80 点	19 項目	24.7%	Q16, Q17, Q19, Q23, Q24, Q36, Q43, Q47, Q48, Q63, Q64, Q65, Q66, Q79, Q82, Q85, Q86, Q87, Q88
【改善検討領域】	重要度 < 3.48 点 且つ 満足度 < 2.80 点	19 項目	24.7%	Q21, Q22, Q25, Q34, Q35, Q53, Q54, Q55, Q59, Q67, Q68, Q80, Q81, Q83, Q84, Q89, Q90, Q91, Q92

分析マトリクス（主要 5 分野 + 公共交通　全 77 項目）



第 11 章 自由意見 (Q103)

本章では、アンケートに寄せられた自由意見について、各分野ごとにその概要を提示する。

- **除雪作業・道路維持管理**
    - 除雪作業の精度向上（路面悪化・シャーベット化の防止）、住宅間口における排雪作業の不平等感の解消。
    - 高齢単身世帯等への玄関前・屋根雪処理の支援、県道・町道のへこみ（穴）補修、徹底した草刈り作業。
- **防災行政無線・情報伝達**
    - 屋外スピーカーの難聴・聞き取りづらさの改善（放送方法・音量・話し方の工夫）。
    - スマホアプリ、LINE、SMS 等を活用した音声・テキストの多重配信（デジタル連携）の早期確立。
- **公共交通・移動支援**
    - 五城目～八郎潟駅線の存続、バスターミナル乗り換え構造の見直しと病院直行便化。
    - バス廃止地域（大川地区等）での手配不便解消、免許返納後の移動手段確保、運賃負担感の軽減。
    - マイカー所有住民を活用した住民参加型モビリティ（自家用有償旅客運送等）の導入提言。
- **町政運営・行政改革・職員対応**
    - 将来世代へ負債を残さないシビアな財政規律と事業の厳格な選別。
    - 庁舎窓口職員の接遇・執務態度の改善、会計年度任用職員等の採用プロセスの透明化・風評払拭。
    - 議員定数の削減（一桁化）、町内会役員の負担軽減、公式 LINE の活用拡大。
- **地域振興・産業・生活環境**
    - 若者定着に向けた企業誘致・雇用創出、旧湖東老健等大型遊休施設の有効活用または迅速な解体。
    - 日常の買い物環境（生鮮スーパー等）の改善、クマ・鳥害対策、オンライン診療導入による在宅療養推進、LGBTQ+理解促進。